

支局活動の広がりをもたらす大学の知見と 今後の目標について

鈴江 省吾

大正大学 地域構想研究所 阿南支局
(徳島県阿南市)

阿南支局が開設されて3年目。この間、同時に設立した大正大学地域創生ソリューションパートナー会社「株式会社すだっち阿南」とともに地域創生に係る様々な取り組みを実践してきた。

2019年度の活動を振り返ると、まず、阿南市と大正大学の包括連携協定に基づく受託研究事業では、11月23日に高校生ミライ会議を開催。市内5校の高校生19名と中小企業の若手経営者3人、大正大学生4人が「高校生が地元企業を知るための仕掛け」について話し合い、大学生は市内24社取材して制作した「ミライ企業冊子」を紹介。会議の内容は後日「高校生ミライ新聞」にまとめて各高校に配布した。また、各分野の専門家が未来への提言を行う「あなん未来会議」を2月28日に開催。今回は「AI時代に求められる教育」について活発な議論が展開され、TV会議による運営も好評価を得た。

次に高校との連携では、「地域との協働による高校改革推進事業」に着手した城西高校神山校のコンソーシアム会議に参画して「神山創造学」の運営評価に携わった。現在、地域と一体となったこの取り組みを、阿南市内の高校にも伝えたいと啓発活動に取り組んでいるところだ。

また、本年度から徳島県との関わりも増えてきた。移住の拡大や事業承継などを担う「なりわいつなぐコーディネーター業務」では、大正大学生とともに阿南市の魅力を紹介するセミナーを有楽町のふるさと回帰センターで開催。「県南キャンパス事業」では、四国大学の調査研究に帯同して、地元商店街の案内や発表会のサポート役を担った。さらに「四国の右下観光局」の依頼で、大

正大学地域構想研究所の村橋教授による「観光DMO研修会」を開催した。

まちづくりの分野では、阿南市から阿南駅前活性化ワークショップ委員に委嘱され、新設される「駅前緑地広場」の活用について高校生や商店主と意見交換や提言を行った。店主の顔が見えるユニークな取り組みで知られる「まちゼミ」にも参画し、「お金の仕組み」や「料理」について考えるセミナーを開催。さらに地域活性化イベント「あなんまちマルシェ」の運営に携わり、当日は3千の人出で賑わった。また、市内でテレワークを推進する女性グループ「NPO 法人エランヴィタル」と連携して、子育て世代をターゲットにした地域情報サイト「まけまけ阿南」の運営やまちかどフリーマーケットなどを企画している。

企業との連携では、商工会議所と連携して市内の中小企業との交流を深め、さらに地元信用金庫と企業が一体となって関係人口を呼び込もうとする「一般社団法人グランフィットネス観光協会」に参画し、地域資源の掘り起こしや新たな情報発信をスタートさせた。

教育分野では、3月3日に阿南市教育振興計画策定委員会で、大正大学の高校・企業マッチングについて事例発表を行ったほか、教育委員会の依頼で外部評価の学識経験者として意見を述べた。また、文化ホールの運営協議会委員も担っている。

寺院との関わりでは、学生が実習でお世話になっている平等寺(四国霊場22番札所)が主催するマルシェと一体となった地域イベントの「初会式」や「歩き遍路体験」「サイクルシェア事業」などに参加し、交流を深めているところだ。

以上が活動のあらましであるが、事業によっては、大正大学地域構想研究所が編集する「地域人」や「メールマガジン」などに寄稿して、情報発信と大学との共有を図っている。

このように関係各位の皆様のご支援をいただき、これまでの「地域実習」「阿南市との連携事業」の主軸に加えて、新たな分野への関わりが徐々に増えてきた。これは、地域創生に特化した支局と株式会社すだっち阿南に対する行政や地域のニーズの高まりが一因かもしれないが、毎月の「地域人」で知る各地の地域創生最前線や毎週の地域構想研究所運営会議で交わされる各研究員の取り組み事例など、大正大学の知見を阿南市に照らし合わせてきた結果であるともいえる。

筆者が支局長となって3年。過去に務めてきた市役所生活では見えなかった部分、特に中小企業の皆さんが頑張っている姿に驚いた。また、大学の研究員として地域創生の現状や可能性を深く学ぶこともできた。東京一極集中、少子高齢化、大規模店や通販の台頭、どこまでも進化するAI、新型コロナウイルスの脅威など、目まぐるしい社会変革のなかでどうすれば地方が生き残れるのか。課題は山積みである。

これまでの歩みで、阿南の未来にとって高校生と企業がつながる大切さが見えてきた。今後は現在の事業を継続しつつ、若者・企業・学校・行政・地域が一体となって、若者の地元就職やローカルベンチャーを促進する「プラットフォームづくり」を支局活動の大きな目標と捉え、地域実習や高校との連携を絡めながら、取り組んでいきたいと考えている。

以上